

アフリカ戦略の基軸となるインド

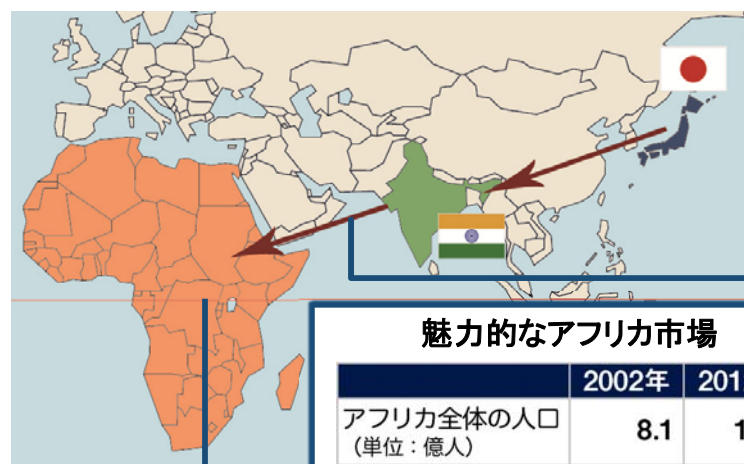
日本が主導するアフリカ開発会議の第5回目が今年開かれ、今後の高い成長が見込まれるアフリカ諸国との投資協定締結が話題となりました。約10億人の人口を擁し、2000年代の年平均実質GDP成長率が4.6%という成長を続けるアフリカ大陸。実はそんな巨大市場を攻略する際の拠点として、成長国*のひとつであるインドが再注目されています。

かつては欧州の東インド会社が拠点としたように、インドは古くから東アジア、中東、欧州さらにはアフリカを結ぶ交通の要所としての地位を確立してきました。そのためアフリカには、現在でも「印僑」と呼ばれるインド人が約250万人も居住しており、世界の国々とアフリカ大陸との橋渡し役となっています。

例えば、日本の自動車メーカーのスズキもインドを拠点にアフリカ市場を開拓しています。同国内において自動車最大手のマルチ・スズキはアフリカ向け輸出を拡大。特に低価格な小型車の販売が好調で、2012年度の輸出は前年度比で5割増えています。

アフリカに古くからネットワークを持つインド企業の活用が、今後日本企業がアフリカ開拓をしていくカギになりそうです。

*「成長国」とは、ゴールドマン・サックスが提唱する今後世界経済の成長を牽引するであろう8カ国(ブラジル、ロシア、インド、中国、韓国、トルコ、メキシコ、インドネシア)を指す。



魅力的なアフリカ市場

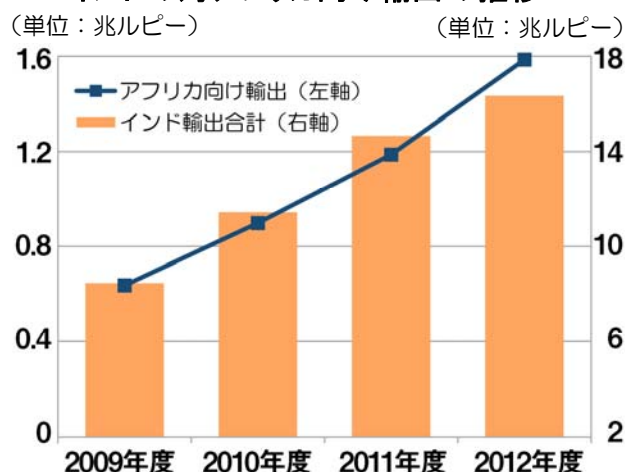
	2002年	2012年
アフリカ全体の人口 (単位: 億人)	8.1	10.6
アフリカ全体のGDP (単位: 億米ドル)	5,763	20,285
一人当たり平均GDP (単位: 米ドル)	1,068	2,901

(出所) IMF

*ソマリアのデータはなし

*一部推計値含む

インドの対アフリカ向け輸出の推移



(出所) インド商務庁のデータを基にGSAM作成
*インドの会計年度は4月から3月まで

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、あくまで例示をもって理解を深めていただくためのものであり、当該個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等を推奨あるいは勧誘するものでもありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(I)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(II)再配布することを禁じます。

<審査番号: 101708.OTHER.MED.OTU> © 2013 Goldman Sachs. All rights reserved.